

鶴ヶ島市からのお知らせ

1 令和4年度鶴ヶ島市一般会計補正予算(第1号)で進める主な事業

(1) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業

【資料】新型コロナウイルス感染症対策に係る令和4年度予算について…P 1

- ① 新型コロナウイルス感染症対策プレミアム商品券発行事業…P 2
- ② 感染症予防対策事業…P 3
- ③ 文化財保護保存事業…P 4

(2) その他の事業

- ① 災害対策事業…P 5
- ② 子ども・子育て関連新型コロナウイルス感染症対策事業…P 6
- ③ 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業…P 7
- ④ 道路交通環境安全対策事業…P 8

2 市の主な動きとこれからの事業

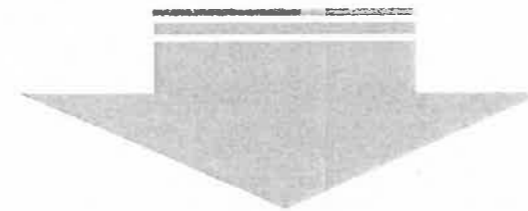
- ① 鶴っ子サマースクール×大学生 WIN-WIN事業を実施…P 9
- ② 「シルバーeスポーツ体験」& 「スマホ教室」を開催…P 12

新型コロナウイルス感染症対策に係る令和4年度予算について

国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などを活用し、感染症対策をはじめ、地域経済や地域活動を支援するための事業を実施します。《予算措置：令和4年第2回鶴ヶ島市議会定例会において予算の補正を予定》

1. 方針 『感染症対策』、『経済対策』及び『地域活動・市民活動の支援』の**3つの柱**に沿った事業を実施
 (一部事業は、令和4年度当初予算に歳出のみ計上済み)

2. 概要 総額 **2億6,352万円**



<p>【感染症対策 6,517万円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自宅療養者の支援 [1,380万7千円] <ul style="list-style-type: none"> ➢ 置き配サービスの継続実施 ➢ 事務作業・配送の外部委託 ○ 坂戸・鶴ヶ島消防組合の感染症対策 [1,292万5千円] <ul style="list-style-type: none"> ➢ 救急自動車1台、感染対策消耗品の購入 ○ 社会福祉協議会の感染症対策 [129万4千円] <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事務室の環境改善に必要な飛沫防止パネルやパーテーション等の購入 ○ 避難所への防災倉庫の増設 [3,714万4千円] <ul style="list-style-type: none"> ➢ 市内にある全小中学校（13校）に新たに防災倉庫を設置 	<p>【経済対策 8,382万5千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ プレミアム付き商品券の発行 [8,382万5千円] <p>《実施内容(案)》</p> <table border="1" data-bbox="1003 1329 1783 1854"> <tr> <td>販売総額 (発行総額)</td> <td>2億円 (2億6,000万円)</td> </tr> <tr> <td>プレミアム率</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>発行方式</td> <td>電子アプリと紙の商品券の併用 ・電子アプリ 7割 ・紙の商品券 3割</td> </tr> <tr> <td>販売方法</td> <td>抽選により当選した方へ販売</td> </tr> </table>	販売総額 (発行総額)	2億円 (2億6,000万円)	プレミアム率	30%	発行方式	電子アプリと紙の商品券の併用 ・電子アプリ 7割 ・紙の商品券 3割	販売方法	抽選により当選した方へ販売	<p>【地域活動・市民活動の支援 7,988万5千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 女性センター・市民センターの環境改善 [1,861万8千円] <ul style="list-style-type: none"> ➢ 抗ウイルス加工の畳、感染症対策備品の整備、 サニタリーボックスの設置(非接触型に更新) など ○ 南市民センター・中央図書館の空調更新 [3,275万円] ○ 高齢者のデジタル活用支援 [832万8千円] <ul style="list-style-type: none"> ➢ スマホ教室、シルバーeスポーツの実施 など ○ 電子図書館の充実（電子書籍の購入） [500万円] ○ “文化財普及啓発” × “健康づくり” [1,518万9千円] <ul style="list-style-type: none"> ➢ 文化財解説板の更新 ➢ 謎解き周遊イベントの開催
販売総額 (発行総額)	2億円 (2億6,000万円)									
プレミアム率	30%									
発行方式	電子アプリと紙の商品券の併用 ・電子アプリ 7割 ・紙の商品券 3割									
販売方法	抽選により当選した方へ販売									

※ その他、庁舎の感染症対策（サニタリーボックス・ゴミ箱を非接触型のものに更新 [32万9千円]）や、自治体DXの推進（公開型GIS、統合型内部情報系システムの導入など [3,431万1千円]）に取り組めます。

令和4年度鶴ヶ島市一般会計補正予算（第1号）で進める主な事業

(04/5/26 定例記者会見資料)

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

地域経済の活性化を図るため、
プレミアム商品券発行事業を実施します
(新型コロナウイルス感染症対策プレミアム商品券発行事業)

目的 期待する効果	新型コロナウイルス感染症の影響によって売上の落ち込んだ事業者と、物価上昇などの影響を受けている市民生活の支援を行い、地域経済の活性化を図るため、30%のプレミアム付き商品券を発行します。	
概要	国の地方創生臨時交付金を活用し、1冊10,000円で13,000円分の買い物ができるプレミアム付き商品券を販売します。 感染防止対策の一環としてキャッシュレス決済を推進するため、70%は電子アプリにより、残り30%はスマートフォンに慣れていない高齢者などに配慮して紙の商品券により行います。	
	商品券応募期間（予定）	令和4年9月
	商品券有効期間（予定）	令和4年11月～令和5年1月
	商品券販売総額（発行総額）	2億円（2億6,000万円）
	商品券販売数	20,000冊（1人3冊まで購入可）
事業費 (今回補正予算額)	新型コロナウイルス感染症対策プレミアム商品券発行経費 8,382万5千円（うち地方創生臨時交付金6,963万6千円）	
特記事項	商品券は、加盟店全店で使える共通券と、大型店以外の小規模店のみで使える専用券のセットとします。	

担当部署	産業振興課 商工労政担当 担当者 永島
連絡先	049-271-1111（内線）231
E-mail	10400110@city.tsurugashima.lg.jp

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

新型コロナウイルス感染の自宅療養者への支援業務の一部を委託します
(感染症予防対策事業)

目的 期待する効果	<p>新型コロナウイルス感染症の陽性が確認され、自宅療養されている方とその同居家族(濃厚接触者)に対する支援について、事務の一部を外部に委託することで業務の効率化と職員の負担軽減を図り、効果的な執行体制と業務改善につなげていきます。</p>
概要	<p>これまで土日祝日含む毎日、職員が対応していた食料等支援業務について、国の地方創生臨時交付金を活用し外部委託します。</p> <p>■ 外部委託の具体的な内容</p> <p>① 療養者のリストの調製、陽性者へ電話での食料支援とパルスオキシメーターの必要性の有無の確認、その取りまとめまでの一連の作業及びパルスオキシメーターの発送については人材派遣を活用します。</p> <p>② 自宅療養者への食料の配達業務については、本市に本社があり、食料支援物資の調達で協力いただいている株式会社ベルクに委託します。</p> <p>このことにより、食料の調達から配送まで一括で実施できることとなります。</p> <p>※6月分は補正予算成立前であるため予算の流用で対応し、7月以降、補正予算により対応する予定です。</p>
事業費 (今回補正予算額)	<p>感染症予防対策支援経費</p> <p>1,044万7千円 (うち地方創生臨時交付金1,044万7千円)</p>
特記事項	<p>現在、自宅療養者への配達については、全庁協力体制の下、各部からの応援職員が行っています。</p>

担当部署	感染症対策課感染症対策担当 担当者 大越
連絡先	049-227-9522
E-mail	10500140@city.tsurugashima.lg.jp

令和4年度鶴ヶ島市一般会計補正予算（第1号）で進める主な事業

(04/5/26 定例記者会見資料)

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

文化財解説板の更新、謎解き周遊イベントの開催により
市民の健康づくりを推進します
(文化財保護保存事業)

目的 期待する効果	コロナ禍においても市民が健康を維持できるよう、文化財を活用して、誰もが外出したくなる環境づくりに取り組みます
概要	<p>国の地方創生臨時交付金を活用し、市民の健康づくりと組み合わせた、新たな文化財の活用を図ります。</p> <p>■ 文化財解説板更新工事 ウォーキングマップ上の立ち寄りポイントに所在する「文化財解説板」を、見やすく、関心の高まるような内容に更新して、ウォーキングで市内を巡る楽しみを増やすことで、市民の外出を促し、健康や活力の維持を図ります。</p> <p>■ 謎解き周遊イベントによる文化財の普及啓発 文化財の展示の際、従来の1か所による展示会を、複数の施設に分散展示して、見学者が各会場を周遊するイベントなどを実施します。 分散により、会場の密を軽減するとともに、周遊（ウォーキング）との組み合わせで健康や活力の維持が期待されます。</p>
事業費 (今回補正予算額)	文化財保存保護経費 1,518万9千円（うち地方創生臨時交付金1,518万9千円）
特記事項	

担当部署	生涯学習スポーツ課 文化財担当 担当者：田中・本多
連絡先	049-285-2194（直通）
E-mail	10800050@city.tsurugashima.lg.jp

令和4年度鶴ヶ島市一般会計補正予算（第1号）で進める主な事業

(04/5/26 定例記者会見資料)

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

小・中学校の敷地内に防災倉庫を新設します
(災害対策事業)

目的 期待する効果	新型コロナウイルス感染防止対策用品など、必要な災害備蓄品の増加に対応するため、市内の全小・中学校に防災倉庫を新設して、災害時の迅速かつ円滑な避難所運営を図ります。
概要	大規模災害時に指定避難所となる市内の全小・中学校（13校）に、防災倉庫を1棟ずつ設置します。 現在、災害備蓄品は、小中学校の空き教室などに備蓄しています。 令和2年度から、通常の災害備蓄品に加えて、新型コロナウイルス感染防止対策用品の備蓄をはじめたことなどから、必要な災害備蓄品の増加に対応するため、校舎外に専用の防災倉庫を新設するものです。 空き教室と新設する防災倉庫を併用し、多種多様な災害備蓄品を備蓄できるようにすることで、より迅速で円滑な避難所運営を図ります。
事業費 (今回補正予算額)	災害対策経費 3,714万4千円
特記事項	

担当部署	危機管理課 防災危機管理担当 担当者 田中
連絡先	049-271-1111 (内線 371)
E-mail	10400090@city.tsurugashima.lg.jp

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

子育て関係施設の簡易な改修などを支援します
(子ども・子育て関連新型コロナウイルス感染症対策事業)

目的 期待する効果	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、市で実施している子ども・子育て関連事業や市内の子育て関係施設への支援を行います。 ※民間の子育て施設も対象としています。
概要	感染症対策のための施設改修や設備の整備（簡易なもの）などを支援します。 ■ 対象となる事業・施設等 ・利用者支援事業 ・延長保育事業 ・放課後児童健全育成事業 ・地域子育て支援拠点事業 ・一時預かり事業 ・病児保育事業 ・保育所 ・幼保連携型認定こども園 ・地域型保育施設 ≪具体的な支援例≫ ・施設における自動水栓化 ・保育所等の環境改善改修（トイレ・調理場の乾式化等）
事業費 (今回補正予算額)	子ども・子育て関連新型コロナウイルス感染症対策経費 7,452万2千円
特記事項	1施設（1事業）あたり100万円または102万9千円を上限に支援します。

担当部署	こども支援課 担当者 里見・利根川
連絡先	049-271-1111 (内線 157・152)
E-mail	10500040@city.tsurugashima.lg.jp

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

低所得の子育て世帯に「児童一人当たり5万円」を給付します
(子育て世帯生活支援特別給付金給付事業)

<p>目的 期待する効果</p>	<p>新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰に直面する低所得の子育て世帯の生活を支援するために、「子育て世帯生活支援特別給付金」を給付します。</p>		
<p>概要</p>	<p>■ 給付対象児童見込数「1,450人」</p> <p>■ 給付対象者・児童見込数</p>		
		給付対象者	児童見込数
	ひこ親世帯	① 令和4年4月分の児童扶養手当を受給している方（申請不要）	730人
		② 公的年金等受給により児童扶養手当を受給していない方	50人
		③ 家計急変により、収入が児童扶養手当受給者と同水準となった方	60人
上記以外の低所得の子育て世帯	④ 令和4年4月分の児童手当又は特別児童扶養手当受給者で、令和4年度の住民税が非課税の方（申請不要）	520人	
	⑤ ④以外の方で18歳年度末までの子（障害児は20歳未満）の養育者であって、以下のいずれかに該当する方 (1) 令和4年度の住民税が非課税の方 (2) 家計急変により、令和4年度の住民税が非課税である方と同水準となった方	40人 50人	
<p>事業費 (今回補正予算額)</p>	<p>子育て世帯生活支援特別給付金給付経費 7,451万7千円</p>		
<p>特記事項</p>	<p>①は6月下旬に、②～⑤はできる限り速やかに給付します。</p>		
<p>担当部署 連絡先 E-mail</p>	<p>こども支援課 子育て支援担当 担当者：千野、清水 049-271-1111（内線154） 10500040@city.tsurugashima.lg.jp</p>		

令和4年度鶴ヶ島市一般会計補正予算（第1号）で進める主な事業

(04/5/26 定例記者会見資料)

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

<p>道路交通環境の安全対策を進めます (道路交通環境安全対策事業)</p>

<p>目的 期待する効果</p>	<p>経年劣化により摩耗した路面標示の再設置などを行い、交通環境の向上や安全の確保を図ります。</p>
<p>概要</p>	<p>通学路点検の結果、交通安全対策が必要な箇所について、国が創設した「通学路安全対策補助制度」を活用し、緊急対策を実施するものです。</p> <p>■ 工事内容</p> <p>通学路に指定されている3路線について、グリーンベルト及び路面標示などの設置（2路線）、横断防止柵の設置（1路線）を行っていきます。</p>
<p>事業費 (今回補正予算額)</p>	<p>道路交通安全対策経費 1,405万9千円</p>
<p>特記事項</p>	<p>市では、令和4年度当初予算においても道路の安全対策経費を計上し、交通安全、通学路などの安全確保に努めています。</p> <p>■通学路安全対策区画線設置工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「スクールゾーン」の路面標示の設置 5路線 ・「学童注意」の路面標示の設置 1路線 ・「通学路注意」の路面標示の設置 1路線 <p>■区画線設置工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外側線などの路面標示の設置 14路線

<p>担当部署</p>	<p>道路建設課 道路保全担当 担当者 矢野</p>
<p>連絡先</p>	<p>049-271-1111 (内線 257)</p>
<p>E-mail</p>	<p>10600020@city.tsurugashima.lg.jp</p>

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

大学生たちが、夏休み中の小・中学生の学習をアドバイス！
(市内小・中学校で「鶴っ子サマースクール」を実施します)

いつ (日時)	第1クール 7月26日(火)から29日(金) 第2クール 8月22日(月)から26日(金)
なぜ (目的・理由) 何を (内容)	■ 経緯・目的 令和2年度に、コロナ禍における学習不安の解消を目的に「鶴っ子土曜塾」を開催したところ、学習の基礎基本の定着に加えて、大学生支援員の職業選択に役立ったという取組成果がありました。 この成果を更に高めていくため、 <u>夏季休業期間を利用した「鶴っ子サマースクール」</u> を実施します。 (事業名:鶴っ子サマースクール×大学生 WIN-WIN事業) ■ 内容 <ul style="list-style-type: none">・市内全小中学校(13校)を会場にして実施・学習指導員(教員免許取得者)を各校1名配置・学習指導補助員(大学生)を各校6名(78名)配置・児童・生徒は、夏休みの宿題のドリル・ワーク、自主学習ノートなどの課題を選び学習に取り組みます。・学習指導員と学習指導補助員は、児童・生徒が自主学習をす る中で出た疑問点についてアドバイス・指導を行います。
事業のポイント (事業の効果)	① 夏季休業期間中に希望する児童・生徒が自主的に学習できる機会を設けることで、 <u>学習習慣の定着</u> を図り、 <u>「確かな学力」を育成</u> します。 ② <u>市内在住の大学生</u> や <u>教職を目指す大学生</u> を採用することで、大学生自身の職業選択に役立てること、鶴ヶ島市への郷土愛を育むことができます。
その他 (特筆事項)	■ 現在、学習指導補助員(大学生)を募集しています。 応募締切は6月17日(金)、詳細は市ホームページに掲載。

担当部署名 教育部 学校教育課 指導担当
連絡先 Tel: 049-271-1111 (内線524)
E-Mail 10800020@city.tsurugashima.lg.jp

『鶴っ子サマースクール×大学生 WIN-WIN 事業』の実施について

1 経緯

鶴ヶ島市の学校教育では、自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し合える子どもを育てることを目指している。そのために、学校と家庭と地域が一体となって、多様な人々と協働しながら、さまざまな社会的変化を乗り越えていくことができる子どもを育てている。

そこで、令和2年度に実施した鶴っ子土曜塾での経験を生かしつつ、大学生等の協力を得て、児童・生徒が自主的に学習できる機会を設け、学習意欲の向上や学習習慣の定着、「確かな学力」の育成を目指すものである。

2 目的

夏休み期間（夏季休業期間中）を利用して、希望する児童・生徒に自主的に学習できる機会を設け、『できた・わかった・もっと学びたい!』という学習意欲を向上させると共に、学習習慣の定着を図り、「確かな学力」を育成することを目的として実施する。

さらに、市内在住の大学生や教職を目指す大学生等を学習指導補助員として募集し、参加した大学生が、やりがいや責任感を持って指導し、児童・生徒の成長を実感して教える喜びを味わうことで、大学生自身が成長する機会とする。

3 日程

研修日：令和4年7月25日（月）…学習指導員及び学習指導補助員の研修日

第1クール：7月26日（火）～29日（金） 4日間

第2クール：8月22日（月）～26日（金） 5日間

4 実施会場

市内各小・中学校の教室等

5 参加対象の児童・生徒

市内小・中学生の中から参加を希望する児童・生徒（※）

参加人数（目安）：各学校、各学年15名程度（※）

※この人数を越えても、会場毎で調整をして、希望する児童・生徒を受け入れる。

6 指導スタッフ（資格条件及び配置人数）

○学習指導員

- ・教員免許取得者を原則とする。
- ・各学校の責任者として1名ずつ配置 [計 13名] する。

○学習指導補助員

- ・市内在住あるいは教員志望の大学生、TJUP 会員校の大学生等
- ・児童・生徒の学習支援を行う補助員として各校に6名ずつ配置 [計 78名] する。

7 実施方法

夏休みの宿題、ドリル・ワーク、自主学習ノートなどの課題を選び学習に取り組む。



「鶴っ子サマースクール」学習指導補助員大募集！

大学生急募

78名

小・中学生の自主学習をサポートする学習支援のお仕事です

勤務地 鶴ヶ島市内小・中学校

時給

1300円

時間 小学校 8:30～12:30
中学校 12:30～16:30

詳細は市HPを
ご覧ください

※交通費込み

期間 研修日令和4年7月25日(月)
第1クール:7月26日～7月29日
第2クール:8月22日～8月26日
計 10日間

応募締切
6/17(金)

ご応募＆お問い合わせ

■市販の履歴書(写貼)を右記担当まで
ご郵送ください

鶴ヶ島市教育委員会学校教育課指導担当
〒350-2292 鶴ヶ島市三ツ木16-1
TEL 049-271-1111

共催: 埼玉東上地域大学教育プラットフォーム



鶴ヶ島市からのお知らせ

再リリース

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

キーワードは『健康づくり』！！

「シルバーeスポーツ体験」 & 「スマホ教室」を開催します！

誰が (主催者)	主催 鶴ヶ島市
いつ (日時)	6月6日(月)スタート ※ 場所・事業詳細は添付資料の日程表をご覧ください
なぜ (目的・理由)	<p>■ 目的 「スマホ教室=デジタル活用支援」と「シルバーeスポーツ=認知症予防」を実施して、<u>デジタルデバイドの解消と高齢者の生活の質の向上</u>を図ります。</p> <p>■ 背景 ・新型コロナウイルスの感染拡大により、高齢者のデジタルデバイス(情報格差)問題が浮き彫りとなる。 (例：<u>ワクチン予約ができない</u>、<u>説明動画が見られない</u>) ・市の調査の結果、<u>コロナ禍で「人と会う機会」「運動する機会」が減少し、『うつ傾向』</u>につながっている可能性がある」と判明</p>
事業のポイント (事業の効果)	<p>① スマホによる各種予約・動画閲覧・キャッシュレス決済・健康アプリの活用など、<u>「新しい生活様式の普及」と「高齢者の生活の質の向上」</u>を図ることができます。</p> <p>② シルバーeスポーツは、<u>認知症予防(介護予防)やフレイル予防に効果</u>が期待されます。</p> <p>③ シルバーeスポーツを通じた「生きがいづくり」「仲間づくり」「世代間交流」など、<u>『新しい社会参加として地域の活動につながる』</u>ことが期待されます。</p>
その他 (特筆事項)	<p>■ <u>講師は、プロeスポーツ選手!</u> 埼玉県在住 live(リベ)さん。 《今後も様々なeスポーツイベントを実施予定です!》 ※ 随時情報を提供させていただきます</p>

担当部署名 健康部 健康長寿課 高齢者福祉担当 池田
連絡先 Tel: 049-271-1111 (内線 209)
E-mail 10500150@city.tsurugashima.lg.jp

鶴ヶ島市

家庭用テレビゲーム機を活用します

シルバーeスポーツ体験&

スマホ教室(操作方法からLINEまで)

参加者を募集します!!



鶴ヶ島市が主催するシルバーeスポーツの体験会&スマホ教室です。ぜひ、ご応募ください。

日時

裏面の日程表のとおり

内容

シルバーeスポーツ体験会
ふよふよeスポーツ・太鼓の達人

スマホ教室

スマートフォンの操作方法とメールやLINE
のやり方について

講師

埼玉県在住プロeスポーツ選手 live(リベ)さん

参加費

参加費無料

対象

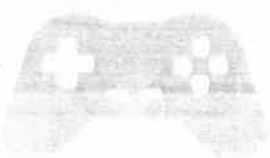
市内在住で65歳以上の方

問合せ

鶴ヶ島市役所 健康長寿課 高齢者福祉担当 049-271-1111

ここに注目!!

認知症予防や
指の運動に効果が
期待されます!



日程表



シルバーeスポーツ体験会(1時間30分)
 スマホ教室(操作方法からLINEまで)(1時間30分)
 ※eスポーツの体験会後にスマホ教室を実施しますが、スマホ教室に参加されない方は、引き続き、eスポーツの体験ができます。

会 場	日 時		定 員
北市民センター	6/6(月)	13時~16時	15名
南市民センター	6/9(木)	9時~12時	15名
富士見市民センター	6/14(火)	9時~12時	15名
東市民センター	6/16(木)	9時~12時	15名
鶴ヶ島市役所	6/18(土)	9時~12時	15名
大橋市民センター	6/22(水)	9時~12時	15名
西市民センター	6/24(金)	9時~12時	15名
老人福祉センター	6/29(水)	9時~12時	15名

※全ての回で同じ内容になります。

応募方法: 鶴ヶ島市健康長寿課高齢者福祉担当まで
 TELまたは窓口(8:30~17:15)

受付期間: 5月13日(金)まで

※応募者多数の場合は抽選になります。
抽選結果についてはすべての方に5月下旬以降に郵送します。

主要事業・行事一覧表（6月～9月）

担当課 健康長寿課

事業・行事等名称	概 要 (事業や行事の内容、会場、主催、問合せ等)	実施予定年月日	資料の有無
鶴ヶ島市シルバーeスポーツ体験&スマホ教室	家庭用テレビゲーム機を活用したシルバーeスポーツ体験とスマホ教室（操作方法からLINEまで）を実施します。 【高齢者福祉担当】	令和4年6月 (詳細は別紙チラシの裏面参照)	有
鶴ヶ島市シルバーeスポーツ&脳トレ体験	シルバーeスポーツ体験を通じた認知機能の維持効果の確認と脳トレ体験を実施します。 【高齢者福祉担当】	令和4年6月20日 (月)、21日(火)	無
鶴ヶ島市シルバーeスポーツ記念イベント	シルバーeスポーツのイベント(体験会)を市役所ロビーで実施します。 【高齢者福祉担当】	令和4年7月30日 (土)	無
シルバーeスポーツ体験支援・スマホ相談	鶴ヶ島市老人福祉センター「逆木荘」において、シルバーeスポーツの体験支援とスマホよろず相談を実施します。 【高齢者福祉担当】	令和4年8月17日 (水)～ 毎週水曜日	無
高齢者のためのスマホ教室	安心!安全にスマホを使ってもらうため、高齢者を対象としたスマホ教室(3回連続講座)を4会場で開催します。 【地域包括推進担当】	令和4年8月5日 (金) 令和4年8月15日 (月) 令和4年8月16日 (火) 令和4年8月18日 (木) (各会場の初回日程)	無